

- 1) 館山南西方の沼段丘には珊瑚の化石がみられるが、これは6160±120 Y.B.Pのものである。
- 2) 縄文プロパーの古い遺跡は、いずれも山寄りの高いところにあり、海岸平野とは無関係に存在している。
- 3) したがって、海岸平野の形成は縄文時代よりも後である。
- 4) 房総半島先端部は、常時沈水傾向にあるが、地震の際には、大きな隆起運動を示す。
- 5) 平野には、海岸線に平行な5列の浜堤列が認められる。
- 6) この浜堤の第V列目は、すでに彌生時代には陸化していた。
- 7) 条里の遺構が認められることから、第Ⅲ列目まではすでに8cには陸化していた。
- 8) 天正年代の汀線は、Ⅱ列目の浜堤の西側にあったと推定される。
- 9) 1703年、元祿地震の際に、Ⅰ列目の浜堤が隆起したと考えられる。
- 10) 1923年、関東地震の際の隆起では、北条海岸の砂浜が広がった。
- 11) その後は、沈水傾向にあるとみられる。
- 12) 南部海岸には、数段の海岸段丘がみられる。
- 13) その最下位のものである岩礁は、1923年関東地震の際の隆起によるものであり、10)の砂浜と対比される。

## 茅ヶ崎市の近郊農業に関する地誌的研究

日比野 洋 子

茅ヶ崎市は戦前・戦後を通じて東京、横浜および湘南各都市のベッドタウンとしての住宅地化の結果として人口の集積を続け、東海道本線、国道一号線沿いには工場の進出をみてきた。

都市化の進行は一方で農業の後退を余儀なくさせる。耕地の減少は経営規模の縮小、耕作放棄地の出現、さらには農地転用をもたらす。農業以外の就業の機会が増大することにより第Ⅱ種兼業農家の増加、後継者難、労働力の質の低下をひきおこす。地域的には特に市街地周辺にこの傾向が強いようである。

これらの現象が都市化が農業の発展に対してマイナスの面に働いていると考えられるのに対し、都市の近郊にあることを積極的に利用し、近郊農業として生きぬくため商品生産的農業を行なう農家も存在する。カーネーション・バラを中心とする温室栽培、トマト・きゅうりの果菜を作るビニールハウス、各種蔬菜の露地栽培、そして養鶏・養豚・酪農といった畜産を営む経営がそれである。

これらの経営形態はそれぞれのおかれた自然条件（地形・土壌）、都市化の進展の程度、その他の経営条件との関係で市域内でも相異なつた分布と特色を示している。

花卉はかつての近郊農業の中心であつた砂丘地区の茅ヶ崎市街地近くに多く、ビニールハウスは東部の砂質土壌が中心である。この両施設園芸ではかなり特化した営農が展開されている。露地蔬菜は概して東部の砂質土壌のところ果菜、西部の粘質土壌に葉菜を配し、近郊農業の有利性を生かして栽培されている。畜産は北部の高座丘陵を中心に、濃厚飼料依存且つ搾乳・採卵を目的とする近郊型で、近年ますます多数頭羽化が進んでいる。

茅ヶ崎市の場合、これらの経営は概して個別的であり、技術・出荷の面でまとまりがないのが特色である。その結果、蔬菜の場合市場は一部を除いて地場市場である。そして歴史的にみてもこれらの農家は周辺の農家を向上させることはなしに、むしろその一部を脱落させつつ現在まで薦農家として歩みつづけてきたし、今後もこの方向に変わりはないと思われる。もちろん労働力不足、後継者難、規模拡大のための用地と資金の問題、畜産公害など都市近郊で生き残るには前途に問題は多いが、これらを克服できる意欲と能力のある経営のみが茅ヶ崎では生き残るであろう。

## 群馬県藤岡市域の地理学的考察

——神流川、鮎川平野の地形を中心として——

古 屋 彰 子

藤岡市は群馬県の南部にあり、関東山地の北東部より流れ出る神流川および鮎川のつくる平地と、その背後の山地帯よりなっている。平地部分には、神流川が堆積してつくれた扇状地を開析した結果できた扇状地性の台地（藤岡台地）と沖積面、それに鮎川、鍋川、三名川の段丘などがあり、藤岡台地の傾斜方向は北東方向で、この地域の地盤の傾斜の方向および地質の方向と一致している。

地形面はいくつかに分かれるが、藤岡台地面以上の面には一般にロームがのっており、藤岡台地の地下数m（ロームの下に）には榛名火山に由来する混流が烏川をせきとめた結果できたと考えられる粘土層（藤岡粘土層）が存在し、市の主な工業である瓦工業の重要な原料となっている。内陸にあるために降水量が少なく、年較差が大きく、冬の北西季節風が強い。また、集落は地形と割合深い関連をもって立地しているが、北西季節風をよけるために、高い屋敷森が卓越している。

人口は約4.4万人で、開発は先史時代に始まり、古墳や条里遺構などもあるが、本格的に発展したのは近世になって絹市のための市場町としてである。農業の主軸は養蚕業と稲作であるが、都市圏の拡大などに伴って、ここ10年位の間はその経営はかなり変化してきている。それは主に水田